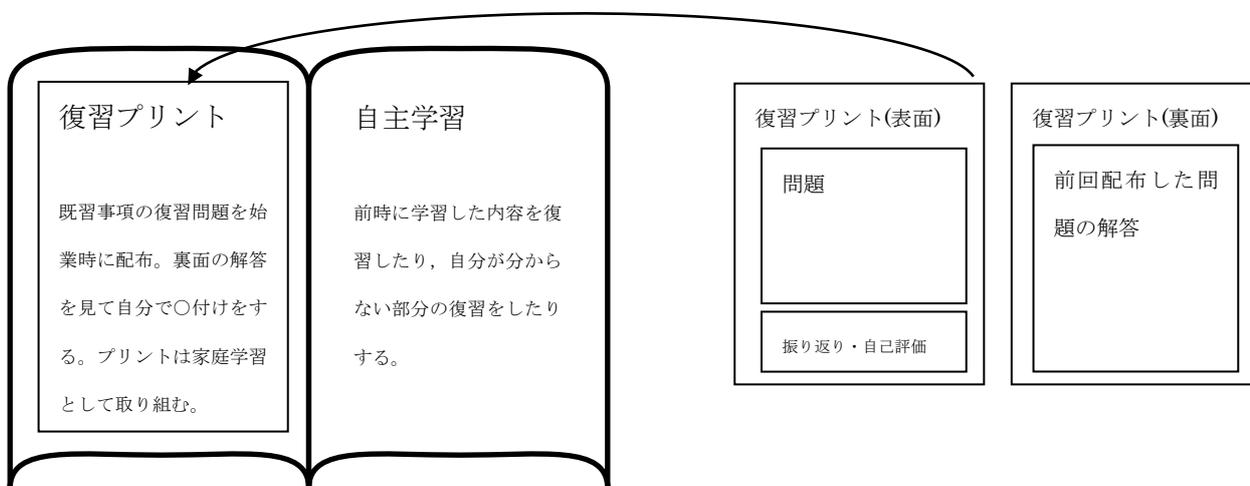


〈テーマ〉課題学習ノートを活用し、基礎基本の定着を目指した取組（富谷町立富谷中学校）

### 1. わらい

本校では、「学習内容を定着させる指導の在り方～指導展開の工夫を通して～（2年次）」という研究主題を設定し、取り組んでいる。特に今年度は、学習内容を定着させるために家庭学習に力を入れることを主眼に置き、本校数学科においては基礎基本の定着を目指し、課題学習ノートを取り入れて実践している。

2. 課題学習ノート：その日までの既習事項の復習ノートとして活用し、個別指導に当たることで学習内容の定着を図ろうという取組である。



このようなノートを数学の授業がある日の朝に毎時間提出させて、帰りまでにノートに目を通してから生徒に返している。

生徒が生徒自身の既習事項の確認をするためのものとして、また、教師が個々の生徒がどこでつまづいているのかを把握するためのものとしてとても有効なノートである。

### 3. 成果と課題

#### 【成果】

- 個々の生徒がどこでどうつまづいているのか把握することができる。
- 家庭学習の習慣化を図る一助となっている。
- 授業時間内に十分できなかった個別指導の手立ての一つとなっている。
- 生徒自身にとってもわからないところを教師に質問できる手段となっている。
- 前時と本時のつなぐ重要なアイテムとなっている。
- 生徒がまとめる力をつけるものとして有効な手段となっている。

#### 【課題】

- 生徒一人一人に丁寧に指導する時間の確保が難しく、何を勉強していいかわからない生徒や自主勉強のやり方がわからない生徒への細かいサポートができなかった。
- 自主学习においてはノートの内容の質の向上が求められる。
- 生徒自身が板書したものの復習や教科書の例題を解くだけでなく、よりレベルの高い発展した問題への取組につなげていく必要がある。